

おいせい



- 1面26～28年度サポーター活動
- 2面28年度施設見学会
- 3面27年度施設見学会（山口）
入会写真
- 4面ごあいさつ ほか

編集・発行 広島市下水道局経営企画課
サポーター会員数/65人 平成29年1月1日現在



出前講座



ふれあいフェア



打ち水大作戦



下水道サポーターの活動報告

26年度は、8月の土砂災害の対応のため、ふれあいフェアや打ち水大作戦、施設見学会が中止となり、小学校への出前講座も一部中止となりました。皆様に多大な影響を与え、非常に残念でしたが、そのような状況にもかかわらず、小学校の出前講座では、延べ50名の支援、ご協力をいただきました。

27年度は、小学校への出前講座も活発に行い、施設見学会では山口県の宇部興産で下水汚泥がセメントの材料に再利用される様子を見ました。

28年度は、カープ優勝の波に乗り、下水道フェアでカープマンホールTシャツを売るなど新しい盛り上がりを見せました。毎年度、活発な活動を展開していただき、本当にありがとうございました。

下水道サポーター 26～28年度活動報告 ※青数字は延べ人数

活動項目	活動内容	参加人数		
		H26年度	H27年度	H28年度
小学校出前講座	実施181校中103校で支援	50名	45名	53名
打ち水大作戦	宇品、己斐、緑井等で支援	中止	12名	10名
下水道ふれあいフェア	マンホールTシャツ等販売	中止	12名	16名
施設見学会	宇部興産、友鉄工業、水道局	中止	21名	18名
サポーター総会	活動報告、委員の改選など…	29名	29名	32名

小学校出前講座 年度別比較

	実施数	サポーター	受講人数
28年度	50校	53名	4,052名
27年度	68校	45名	5,343名
26年度	64校	50名	5,482名
25年度	72校	54名	6,205名
24年度	70校	83名	5,903名
23年度	71校	71名	5,516名
22年度	66校	76名	5,168名
21年度	57校	79名	4,701名

※サポーターは講座にご協力いただいた延べ人数

ごあいさつ

「下水道サポーターになって10年」

サポーター制度ができ、10年が過ぎました。下水道資料室に集まり、熱のある意見交換。出た意見からサポーターの帽子、マスコットキャラクター、六角絵が考案制作され、出前講座に打ち水大作戦に下水道フェアに生かされました。

結果、国土交通省大臣賞受賞に至ったのには、大いに喜びと活力をいただきました。さて、これからを考えてみましょう。

出前講座、打ち水大作戦、下水道フェアへの参加には、日常生活では味わえない楽しさ出会い元気をもらえます。また、年1回の視察訪問は学習のみならず驚きと刺激。これも魅力です。

これらは、これからも継続していきたいものです。

それにも増して考えさせられるのは環境改善の大いなる担い手である下水道の在り方、広島市以外での取り組みです。

先日、瀬戸内海がクリーンになり栄養分が少なく過ぎ漁獲に影響が出てきたとの報道がありました。クリーンな排水の必要性を一途に思い描いていたので、生活環境均衡の在りようの難しさを考えさせられました。これらを共に考える時間が持てると有意義と思っています。

また、広島市以外の取り組みでは、各地の下水道フェア、東京のマンホールサミット、ビストロ下水道など興味深いところです。

さらに各種団体とも連携を取り、より視野が広くなりすそ野が広がることも楽しみにしていきたいものです。

これからも下水道サポーターとして熱き好奇心を持って、知識を広げながら下水道と協働できればと願うところです。

第五期 皆川 みどり

一年を振り返って（平成二十七年二月投稿）

昨年の大災害で、亡くなられた方又被害に遭われた方に、心からお悔やみ、お見舞い申し上げます。

さて、運営委員として本年度を振り返ってみると、異常ともいえる気象に悩まされた一年だったと思います。夏以降はほとんどの行事が中止となり、何もできなかったという方が正直な気持ちです。そんな中、第三回の運営委員会で、災害の後、電気やガスなどのインフラの問題は大きな話題になったのに、下水道はどうだったかという話はあまり聞かされてきませんでした。本当は大変だったのにニーズにならない、市民の声が届かないということでしょうか。本来下水道サポーターは、「市民と行政とのパイプ役」としていろいろな問題を掘り起こしたり取り上げたりすべきでは「みたいな話がありました。また、これからの下水道サポーターはどうあるべきかについてもいくつか案ができました。やはり活動するからには楽しい会にしたいかなければならず、そのためには運営委員の役割は大だとも思います。魅力的な案を出し合い、会を引っ張って行くくらいの元気が必要だと思いました。後三月の総会をもって本年度は終了しますが、願わくは来季も運営委員として活動したいと思っています。

第二十一期 恩田 浩幸

H27年度下水道サポーター施設見学会（宇部市）

平成27年11月24日、サポーター21人で山口県 宇部興産㈱（セメント工場）に行ってきました



宇部興産 伊佐セメント工場
（石灰石鉱山採掘現場）

特別天然記念物「秋芳洞」見学



宇部興産 宇部セメント工場



宇部興産専用道路
（全長 32km）



新しい仲間が増えました

第23～25期の下水道サポーター養成講座を開催し
合計21名の方が受講されました。
そのうち、18名の方がサポーター協議会に入会
されました。
これから一緒にこの会を盛り上げていきましょう！



H28年度下水道サポーター施設見学会（鉄ぶた、水道）

平成28年11月22日、サポーター18人でマンホール製作工場と、水道局牛田浄水場に行ってきました。

溶けている鉄を鋳型に流し込む



水道局 牛田浄水場



マンホール製作の説明を受ける



マンホール製作工場の前



施設見学会に参加して

平成28年11月22日
第1期 寺田 吉成

下水道関連施設見学会

「マンホール鉄ぶたができるまで」を見る

少し色あせた山々を見ながら、鉄蓋がどんな材料でどんな工程を辿って世の中に出てくるのか。
いつも道路や、土の中で目立たない存在の物を、この目で見てやろうじゃないか。

18名はそう思いながらバスから降りた。

教育が最もされている会社の一つと聞いていたのだがそれは玄関に入るところから雰囲気は違っていた。
丁寧というより心のそこから生まれた「親切」がそこにあった。

機械化がすべての多い世の中に、こんなに沢山の人が一糸乱れることなく仕事に打ち込んでいる事が驚き
と同時に、ここまで持ってくる道のりは大変なことだろうと思いをはせた。

危険と隣り合わせの工程、そのなかからいかにしたらより良いものができるか、みんなの知恵を出し続ける
ようにしむけている。それに皆が答えている姿、これを見ることが出来ただけで今日の目的の半分は達成
出来た。

溶鉱炉から流れ出る 1500 度の物体が見られなかったのが残念だったが黒光りのする鉄蓋があんなに薄暗
い中で、よくも出来るものだと感心した。目の悪い俺はいつも何かにつまづいていることだろう。

社員のみなさんは、ここの食堂で食事をされると聞いたことがあるが、家庭的経営が成り立っている原因
がここにもあるのではないだろうか。

色刷りのマンホールマップは、あまりにも種類が多くて、覚える事は出来ないが、どこかの道で巡り会え
たら、思わず見とれる事間違いなし。そして今日見た皆さん方の苦勞を思い出すことだろう。

カーブ坊やどこにつけようか。

今日の出来事がわが家のちゃぶ台に昇る事まちがいなし。

お世話してくださった方々にお礼をもうしあげます。